

第35回

北前船

寄港地フォーラム

in 加賀・福井

第6回 地域連携研究所大会

併催

北前船日本遺産推進協議会

記念大会 in 加賀

KITAMAEBUNE
KAGA & FUKUI

能登半島地震からの

北陸復興に向けて

北陸新幹線延伸開業を契機に

北前船文化を世界へ発信

2024
11.21 木
THU
~
23 土
SAT

【主催】

第35回北前船寄港地フォーラム in 加賀・福井
加賀市実行委員会・福井県実行委員会

【協力】

一般社団法人 北前船交流拡大機構
一般社団法人 地域連携研究所
北前船日本遺産推進協議会

【特別協賛】

株式会社SGC
日本たばこ産業株式会社



KITAMAEBUNE





ご挨拶

北前船寄港地フォーラム in 加賀・福井
加賀市実行委員会 会長
加賀市長 **宮元 陸**



「第35回北前船寄港地フォーラム in 加賀・福井」並びに「第6回地域連携研究所大会」の開催にあたり、全国各地からご来訪下さいました多くの関係者の皆様に心より歓迎申し上げます。

本年元日に発生しました能登半島地震は、北前船日本遺産推進協議会加盟自治体の輪島市、志賀町をはじめ、北陸地域に大きな被害をもたらしました。今回ご参加いただきました関係各位には、被災地への温かいご支援を賜りましたことに心より感謝を申し上げます。

「北前船寄港地フォーラム」を当市で開催いたしますのは、平成27年11月以来2度目となります。当市の橋立町は、北前船の歴史や文化を色濃く残す地域として、その町並みは重要伝統的建造物群保存地区に選定され、伝統文化を今日まで育んでまいりました。

当市では、本年3月16日の北陸新幹線加賀温泉駅開業により交通アクセスが充実し、加賀温泉郷に多くの観光客の方をお迎えております。今般ご来訪の皆様にも当市の魅力を堪能していただき、充実した時間をお過ごし願えればと存じます。

結びに、本フォーラムの開催にご尽力いただきました皆様に心より感謝を申し上げますとともに、加賀・福井の地から、北前船が紡いできた全国各地との絆を更に深め、北陸復興に向けて官民が一体となって取り組む決意をより一層深める機会となりますようご期待申し上げ、歓迎のご挨拶といたします。



ご挨拶

北前船寄港地フォーラム in 加賀・福井
福井県実行委員会 会長
福井県知事 **杉本 達治**



「第35回北前船寄港地フォーラム in 加賀・福井」の開催にあたり、一言ご挨拶申し上げます。本日は、全国各地から福井県にお越しいただき、誠にありがとうございます。心から歓迎いたします。

本県は、「越山若水」と称される豊かな自然・景観に恵まれた地域です。食材も豊富であり、本県発祥のコシヒカリはもとより、新たに開発した「いちほまれ」や「越前がに」をはじめとする里・海・山の幸、美味しい水を活かした地酒やおろしそば、梅干、へしこといった独自の食文化に加え、眼鏡や繊維に代表されるように製造業の盛んなものづくりの県でもあります。また、1500年の伝統がある和紙や漆器をはじめとした伝統工芸が受け継がれており、ブランド化や産地観光など新たな動きも生まれています。

本日のフォーラムでは、こうした本県の魅力に触れていただくとともに、県内北前船寄港地および船主集落の地域と全国の北前船ゆかりの地域との交流を一層深め、新たな価値を生み出す機会になりますことを期待いたします。

また、このたびの交流機会を通じて、引き続き、皆様とともに、日本の物流を支えた北前船の繁栄の歴史、各地に色濃く残る北前船文化を強力に発信し、北陸新幹線福井・敦賀開業を活かした観光・交流拡大につなげてまいります。

結びに、本フォーラムの開催に際し、一般社団法人北前船交流拡大機構の皆様をはじめ、ご支援とご協力をいただきました多くの皆様に心から御礼を申し上げ、歓迎のご挨拶といたします。

ご挨拶

北前船寄港地フォーラム in 加賀・福井

加賀市実行委員会 特別顧問

石川県知事 馳 浩



「第35回北前船寄港地フォーラム in 加賀・福井」が盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。

石川県では今年、元日の能登半島地震、9月の奥能登豪雨と、未曾有の大災害が立て続けに発生し、輪島市門前町黒島地区の旧角海家をはじめ、北前船ゆかりの文化財等にも甚大な被害が生じました。今回のフォーラムは、震災復興支援を目的に開催地を決定頂いたとのことであり、北前船が紡ぐ絆が今もなお息づいていることに深い感銘を受けるとともに、能登に思いを寄せて頂いている皆様のご厚情に心から御礼を申し上げます。

本県では、北前船ゆかりの地として6市町が日本遺産に認定されております。当地、加賀地区は、一航海千両といわれた北前船が生み出す莫大な富により栄え、現在は重要伝統的建造物群保存地区にも指定されている加賀橋立をはじめ、鶴仙溪などの豊かな自然、山中漆器や九谷焼等の伝統工芸や著名な温泉地など、多彩で魅力あふれる観光資源が豊富な地域です。北陸新幹線敦賀開業を契機に、ぜひ多くの方にこれらの魅力を体感していただければ幸いです。

結びに、今回の開催にご尽力を賜りました関係者の皆様に敬意を表するとともに、今後益々のご健勝とご活躍を心から祈念申し上げます。

山代温泉



山代温泉には総湯を中心に旅館や商店が立ち並ぶ湯の曲輪という街並みが今なお残されています。明治時代の総湯を復元した古総湯は、ステンドグラスが湯船に鮮やかな光をおとし、タイルには当時の絵柄を再現した九谷焼がほどこされています。

山中温泉



山中の温泉街に沿って流れる深谷 鶴仙溪では、新緑や紅葉など四季折々の風情を楽しむことができます。また、日本を代表する民謡 山中節は、北前船の船頭衆が松前追分を湯の中で唄い、それを浴衣娘たちが山中なまりで真似たのが始まりとされています。

片山津温泉



片山津温泉は柴山瀧湖畔に位置し、柴山瀧に浮かぶ浮御堂の背景には噴水や雪峰白山の絶景が広がります。夏には、柴山瀧湖上に連日連夜鮮やかな花火が打ち上げられ、温泉に浸かりながら特別な夜景を楽しむことができます。

ご挨拶

敦賀市長 米澤 光治



「第35回北前船寄港地フォーラム in 加賀・福井」の開催にご尽力いただきました関係者の皆さまに、心より感謝申し上げます。北前船ネットワークにより育まれた文化や技術は、敦賀の地において和食文化を支える昆布加工技術などとして今でも市民の誇りとなって私たちの生活の中に息づいています。今後も北前船文化の継承に努め、その魅力を国内外に向けて発信し続けてまいります。

小浜市長 杉本 和範



「第35回北前船寄港地フォーラム in 加賀・福井」の開催にあたり、ご尽力いただきました関係者の皆さまに心より感謝申し上げます。小浜市は、北前船を通じた交流によって鯖街道起点の港町が栄え、住民の誇りとなる町並みや文化が今もなお暮らしの中に息づいています。今回のフォーラムが北前船に縁のある関係者の交流を深め、北前船交流に見られた地域間連携を継承し、観光・産業分野をはじめとした地域活性化につながることを期待しております。

坂井市長 池田 禎孝



今回のフォーラムの開催にご尽力いただいた関係者の皆さまに心から感謝申し上げます。坂井市の三国湊には、北前船が栄えていた時代から続く情緒ある街並みが現存しており、先月には北前船の歴史を活かしたまちなかイベント「三國湊北前ストリーム」を開催するなど、保存、活用に取り組んでおります。北前船の文化が色濃く残る街並みが皆さまをお出迎えますので、ぜひお越しください。

南越前町長 岩倉 光弘



今回のフォーラム開催にご尽力いただきました関係者の皆さまに、心より感謝申し上げます。右近家・中村家など多くの北前船主を輩出した南越前町河野地区は、往時の繁栄を伝える独特の景観や建築様式が色濃く残っており、北前船でもたらされた文化が今もなお地域に根付いています。このフォーラムを契機に、地域間の連携や交流がより一層深まり、広域観光の活性化につながることを期待しております。

美浜町長 戸嶋 秀樹



「第35回北前船寄港地フォーラム in 加賀・福井」の開催をお祝い申し上げますとともにご尽力いただきました関係の皆様に心より感謝申し上げます。北前船が各地に運んだ数多くの文化を活かし、地域活性化の取り組みを今後も引き続き進めてまいります。今回のフォーラム開催を契機に、地域交流が益々深まり、実りある地方創生につながることを期待しております。

敦賀



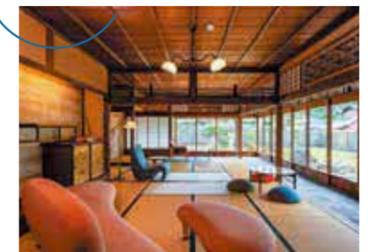
北前船主をはじめとする敦賀の有力町衆たちが、氣比神宮の祭礼の際に曳き出した山車で、江戸時代には数十基もの山車が曳き出されたという記録もあり、敦賀湊の繁栄ぶりを伝えています。

美浜



レインボーライン山頂公園では、三方五湖を「天空」から楽しめます。標高400mの梅丈岳山頂では、趣向を凝らした5つのテラスがあり、それぞれ違ったスタイルで日本海と三方五湖の絶景を堪能できます。

小浜



北前船主迎賓館「旧古河屋別邸」では、北前船が運んだ秋田杉や貝の釘隠しを用いて、藩主などの賓客をもてなした書院で寛いでいただき、船主蔵では船絵馬をはじめとして北前船のギャラリー展示をご覧いただけます。



関係者ご挨拶



一般社団法人 北前船交流拡大機構 名誉会長 **新田 嘉一**

能登・七尾が生んだ絵画の巨匠・長谷川等伯は、苦難に負けず、変化も恐れず、前向きに新たな創造の道を開きました。その芸術は、人間や動物から、堂々たる大樹や可憐な草花に至るまで、魂を込めていく作風として今も讃えられています。自然災害という人知では図りしえない挑戦に私たち人類は応戦を繰り返してきました。そこにこそ発展・成長があります。北前船で繋がった私たちは、心をついに北陸の復興に向けて前進してまいります。



一般社団法人 北前船交流拡大機構 会長 **岩村 敬**

橋立（加賀市）、敦賀など11の湊（寄港地）を抱え、北前船によって莫大な富と都の文化がもたらされた石川県、福井県が今回の舞台となります。そして、1月に発生した能登半島地震で甚大な被害を被った北陸地方の復興支援も今回のフォーラムの目的となります。多くの皆様の参加を歓迎します。北陸新幹線が福井まで延伸され、首都圏が身近になりました。これを機に北前船の歴史・意義が首都圏さらに海外にまで認知されることを期待してやみません。



一般社団法人 北前船交流拡大機構 理事長 **濱田 健一郎**

この度、多くの皆様にご参集いただき第35回北前船寄港地フォーラム及び、第6回地域連携研究所大会を石川県加賀市と福井県にて開催できますことに感謝申し上げます。本フォーラム開催の為に尽力いただきました加賀市と福井県の関係者の皆様に心より御礼申し上げます。今年元日に発生致しました能登半島地震や9月の大雨洪水の被害によって大変な思いをされております輪島市・志賀町を始めとした能登半島の多くの皆様方に少しでもお役に立てれば、元気になって頂ければと思います。今回のフォーラムを企画致しました。当機構としても今後の能登半島の復興、観光振興に微力ながら尽力して参ります。



一般社団法人 地域連携研究所 自治体会員共同会長 岡山市長 **大森 雅夫**

第35回北前船寄港地フォーラムin加賀・福井の開催をお喜び申し上げるとともに、第6回地域連携研究所大会に多くの皆様にご参加いただき心より感謝申し上げます。また、能登の地震及び豪雨で亡くなられた方々に哀悼の意を表するとともに、被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。北前船が地域を繋げ、日本各地に経済や文化を広げたように、フォーラム及び大会での交流の輪が日本全国に広がり、能登の復興を後押ししていくことを期待しております。



一般社団法人 地域連携研究所 企業会員代表 株式会社ジェイアール東日本企画 代表取締役社長 **赤石 良治**

第6回地域連携研究所大会が、加賀市にて開催される運びとなりました。ここ加賀市の海沿いにある橋立、瀬越、塩屋は、北前船の船主を多く輩出した船主集落であり、繁栄を極めました。江戸時代から明治時代にかけて巨額の富を築いた酒谷家が建てた「北前船の里資料館」では、北前船に関する様々な資料を展示公開しています。今回は、能登半島地震、奥能登豪雨からの復興及び、北陸新幹線延伸を契機とした北前船文化の世界への発信がテーマであり、意義深い内容となります。これまでに引き続き、多くの地域・企業の皆様にご参加頂き、真の地域創生に繋がることを期待しております。



一般社団法人 地域連携研究所 企業会員共同代表 日本航空株式会社 副会長 **清水 新一郎**

はじめに、能登半島での地震・豪雨で犠牲となられた方々に深く哀悼の意を表するとともに被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。本日は多くの皆さまにご参加いただき、「加賀・福井」で開催できますことを感謝申し上げますとともに、ご尽力いただいた関係者の皆さまに心より御礼申し上げます。当研究所は志を同じくする民間企業にご参加いただき、官民が連携し、地域が抱えるさまざまな課題を解決することを目的としており、JALグループも人やモノの移動を通じた関係・つながりの創出に取り組み、地域活性化を支援してまいります。



一般社団法人 地域連携研究所 企業会員共同代表 株式会社ANA 総合研究所 取締役副社長 **森 健明**

北前船交流拡大機構、地域連携研究所は地域を繋ぎ、交流を深める中で地域の課題の解決に向けて協力し合う組織ですが、4月には、備前焼と大館まげわっぱをミラノで展示するなど、地域と海外を直接繋ぐ活動へと進化しています。単独の地域では難しいことでも、多くの地域が協力する事で可能性が無限にひろがります。大会にお集まりいただきました参加者の皆様の力と心をついに、北陸能登地方の復興を力強く支援していきましょう。



一般社団法人 北前船交流拡大機構 副会長 東武トップツアーズ株式会社 代表取締役 会長執行役員 **久保 成人**

「第35回 北前船寄港地フォーラム in 加賀・福井」の開催にあたり、ご尽力いただきました多くの関係者の皆様に感謝申し上げます。古くより、世界に開かれた玄関口でもあった北陸の地で、『北前船文化を世界へ発信』とのテーマでフォーラムが開かれるのは大変意義深いと考えます。また、日本海側の大動脈である北陸新幹線敦賀延伸に合わせたフォーラムは時宜に即した大会でもあります。是非、この場において志ある皆様の知見を結集し、現下のさまざまな社会課題を解決する為の議論を展開していただければと思います。本フォーラムが能登半島地震からの復興の一助となることを心より祈念してご挨拶いたします。



一般社団法人 北前船交流拡大機構 副会長 東日本旅客鉄道株式会社 常務取締役 マーケティング本部長 **中川 晴美**

「第35回 北前船寄港地フォーラム in 福井・加賀」の開催にあたり、ご尽力いただきました皆様に心より感謝を申し上げます。2024年3月に北陸新幹線 金沢～敦賀間が開業し、北陸を広域周遊するなどの新たな旅の楽しみ方も広がりました。更に、JRグループでは10月から「北陸デスティネーションキャンペーン」を開催し、北陸の魅力発信に取り組んでいます。北陸新幹線の延伸、フォーラム開催を契機に、関係する皆様の交流・連携を一層促進させ、北前船文化がより広く発信されていくことを祈念いたします。



一般社団法人 北前船交流拡大機構 副会長 西日本旅客鉄道株式会社 理事 マーケティング本部鉄道マーケティング部長 **岡田 学**

北前船寄港地フォーラム in 加賀・福井の開催にあたり、お力添えいただいた方々に心から感謝申し上げます。今年3月には関係の皆様のご尽力により、北陸新幹線金沢・敦賀間が開業しました。能登半島地震の被災地の復興に向け、私どもJR西日本グループも、地域の皆様とともに取り組みを進めているところです。本日お集まりの皆様とともに北陸と各地を結ぶ「地域間交流拡大」の取り組みを通じ、復興の動きがより強いものとなることを祈念いたします。



一般社団法人 北前船交流拡大機構 副会長 日本航空株式会社 執行役員 ソリューション営業本部 副本部長 **西原口 香織**

はじめに、能登半島での地震・豪雨で犠牲となられた方々に深く哀悼の意を表するとともに被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。本日は多くの皆さまにご参加いただき、「加賀・福井」で開催できますことを感謝申し上げます。かつて海運の大動脈を担った北前船は、人々の暮らしを豊かにするとともに、文化や産業も運び、育んできました。今回のフォーラムが北陸復興につながり、さらには北陸文化が世界に羽ばたくことを祈念し、JALグループも人々やモノが自由に行き交う心はずむ社会・未来の実現に向けて翼を広げ支援してまいります。



一般社団法人 北前船交流拡大機構 副会長 株式会社 ANA 総合研究所 代表取締役社長 **切刀 秀記**

このフォーラムも35回目を迎えます。あらためてこれまで継続してきた関係者の皆様のご尽力に感謝申し上げます。同時に、この取組の骨格となる北前船の歴史、経済的役割がこれだけ後世に語り継がれるほどしっかりとしたものだったと改めて感じております。且つ荒波を越えた先人たちの強い意志を思い起こし、賛同するみなさまと今回のイベントを少しでも復興支援の一助にしたいと思っております。



株式会社 日本旅行 代表取締役社長 **小谷野 悦光**

「第35回 北前船寄港地フォーラム・第6回地域連携研究所大会 in 加賀・福井」の開催につきまして心よりお祝い申し上げます。今年1月および9月に発生した能登震災・豪雨災害の早期の復興を願うとともに、今回の開催地である石川県加賀・福井県は今年3月開業した北陸新幹線延伸にかかるエリアであり日本旅行グループにとっての最重要エリアであります。観光振興のみならず、交流人口・関係人口拡大に向けた最大限の取組みをして参ります。



駐日ブルガリア共和国大使

マリエタ・アラバジエヴァ

第35回北前船寄港地フォーラムの加賀・福井での開催、誠におめでとうございます。今年3月、大使館にて被災者支援のためのチャリティーコンサートを北前船の全面的な協力のもと開催できましたことを心から感謝申し上げます。皆様の温かい支援が、復興への力となることを願っております。また、先日北前船の方々がブルガリアを訪問された際には、貴重な交流の機会をいただき、ありがとうございました。

北前船交流拡大機構の役割が日本国内のみならず、他国との関係構築においてもますます重要になる中、私も微力ながらお手伝いできればと考えております。

日本とブルガリアは150年以上にもわたる友好関係があり、多くの共通点があります。両国の距離をもっと近づけるために初のチャーター便も実現する予定です。その点でも北前船のご支援を期待しています。

本フォーラムが成功し、北前船の歴史と地域の未来をつなぐ新たな一歩となることをお祈り申し上げます。



在インドネシア日本国特命全権大使
前欧州連合日本政府代表部特命全権大使

正木 靖

北前船寄港地フォーラム加賀・福井大会の開催、心よりお祝い申し上げます。

思い起こせば、前職の際、パリ大会の帰路の浜田理事長、浅見専務理事を始めとする関係者の皆様にブリュッセルでお会いしたご縁で、様々な機会に貴フォーラムの活動に関与して以来、微力ながらお手伝いをさせて頂いて参りました。その間、ミラノのサロンへの備前、大館の方々の参加など、着実に成果を出され、北前船寄港地をテーマとした国際交流、地方の伝統製品の紹介に成功されてきたことに関係者の皆様の御努力に改めて敬意を申し上げます。多様な日本の地方と、同じく多様な欧州との交流が、相互理解を生み、よい相乗効果を生み、双方にとってプラスになることは、当初より確信していましたが、喜ばしい限りです。私こと今は任地をかえ、インドネシアにありますが、当地及び近隣の国、地域の文化の多様性、日本との交流の歴史を知るにつれ、今度は同フォーラムと東南アジアとの交流拡大に思いを馳せる毎日です。今回の大会開催を契機に、日本の地方創生、能登沖地震など未曾有の災害に見舞われた石川県の復興につながるよう引き続き応援させていただきます。

来、微力ながらお手伝いをさせて頂いて参りました。その間、ミラノのサロンへの備前、大館の方々の参加など、着実に成果を出され、北前船寄港地をテーマとした国際交流、地方の伝統製品の紹介に成功されてきたことに関係者の皆様の御努力に改めて敬意を申し上げます。多様な日本の地方と、同じく多様な欧州との交流が、相互理解を生み、よい相乗効果を生み、双方にとってプラスになることは、当初より確信していましたが、喜ばしい限りです。私こと今は任地をかえ、インドネシアにありますが、当地及び近隣の国、地域の文化の多様性、日本との交流の歴史を知るにつれ、今度は同フォーラムと東南アジアとの交流拡大に思いを馳せる毎日です。今回の大会開催を契機に、日本の地方創生、能登沖地震など未曾有の災害に見舞われた石川県の復興につながるよう引き続き応援させていただきます。



株式会社木下グループ
代表取締役社長兼グループ CEO

木下 直哉

「第35回 北前船寄港地フォーラム in 加賀・福井」の開催を心よりお慶び申し上げます。

2024年、能登半島では大地震及び豪雨により大きな打撃を受けました。これらは、地域のインフラや経済に深刻な影響を与え、今なお復興には時間を要していることと思います。

一方、北前船は江戸時代から明治時代にかけて日本海を航行し、重要な物資輸送の役割を果たしてきました。能登半島の港町は、北前船の寄港地として栄え、地域経済や文化交流を支えてきました。

北前船推進機構では、観光振興、地域特産品の発信、コミュニティの構築に通ずる活動などを行い地域振興に寄与しています。震災後の復興においても、このような活動により、北前船の精神が復興を支える重要な要素となっています。北前船推進機構の取り組みは、地域の絆や未来への希望を再認識できます。今後もこの地域が過去の経験を活かし、発展を続けることを期待しています。

式次第

第6回 地域連携研究所大会 in 加賀

2024年11月22日(金) 午前9時～正午
石川県加賀市山代温泉 みやびの宿加賀百万石 2Fホール「剣梅鉢」

開会式

一、開会挨拶

一、来賓挨拶

第1部

I、トークセッション

伝統的工芸品の海外展開等 ～ これまでとこれから ～

- | | |
|--|--------|
| ① 岡山県備前市 市長 | 吉村 武司 |
| ② 秋田県大館市 市長 | 石田 健佑 |
| ③ ミラノデザインウィーク出展コーディネーター
(一財)渋谷区観光協会 理事・事務局長 | 小池 ひろよ |
| ④ 欧州連合 日本政府代表部 参事官 | 二宮 悦郎 |
| ⑤ 観光庁 観光地域振興部 観光資源課長 | 竹内 大一郎 |

II、総括

内閣府地域活性化伝道師 跡見学園女子大学 准教授 篠原 靖

第2部

I、地域の取り組み紹介

- | | |
|----------------------------|-------|
| ① 秋田県大仙市 市長 | 老松 博行 |
| ② 秋田県仙北市 市長 | 田口 知明 |
| ③ (一社)長崎国際観光コンベンション協会 常務理事 | 股張 一男 |

II、各種取り組み報告

- | | |
|-------------------------|--------|
| ① 株式会社アミナコレクション 代表取締役社長 | 進藤 さわと |
| ② (一財)日本スポーツ政策推進機構 理事長 | 河野 一郎 |
| ③ 株式会社フォーシーズ 取締役 専務執行役員 | 光岡 健世 |
| ④ 株式会社ANA総合研究所 取締役副社長 | 森 健明 |

閉会式

閉会挨拶

※ 内容は変更される場合がありますのでご了承ください。
※ ご挨拶をいただく方々が多数おられますので、お名前に関しましては別添をご参照下さい。



式次第

第35回 北前船寄港地フォーラム in 加賀・福井 (加賀会場)

2024年11月22日(金) 午後1時～午後5時
石川県加賀市山代温泉 みやびの宿加賀百万石2Fホール「剣梅鉢」

開会式

- 一、開会挨拶
- 一、来賓挨拶

第1部

- I、トークセッション①
橋立北前船主と近江商人とのつながり
全国北前船研究会副会長、江沼地方史研究会会長 見 附 裕 史
- II、トークセッション②
「北前船の里」加賀橋立～日本遺産を活かした観光まちづくり～
加賀橋立北前船ツーリズム実行委員会 木 村 茂 樹
小樽商科大学 客員研究員 高 野 宏 康

第2部

- I、基調講演
石川県の観光復興に向けた取り組み
元観光庁長官 和 田 浩 一
- II、トークセッション①
北前船文化と高付加価値インバウンド観光の推進
石川県観光連盟副理事、(一社)北前船交流拡大機構顧問 上 口 昌 徳
石川県観光大使 福 原 義 明
石川県北前船文化観光 上口塾コンソーシアムチームの皆さん
- III、パネルディスカッション
北陸復興に向けた観光の取り組みを考える
〈ファシリテーター〉観光庁 観光地域振興部 部長 長 崎 敏 志
日本航空株式会社 中部支社支社長 岩 見 麻 里
全日本空輸株式会社 取締役執行役員 石 井 智 二
西日本旅客鉄道株式会社 理事 マーケティング本部鉄道マーケティング部長 岡 田 学
株式会社日本旅行 常務取締役 ソリューション事業本部長 吉 田 圭 吾
- IV、トークセッション②
日本政策投資銀行の取り組み紹介
株式会社日本政策投資銀行 企業投資第3部 地域投資担当課長 西 村 俊 輔

第3部

- I、特別講演
楽天グループ株式会社 代表取締役会長兼社長 最高執行役員 三木谷 浩 史
- II、特別講演
インデックス株式会社 代表取締役社長 植 村 公 一
- III、特別講演
衆議院議員 小 泉 進 次 郎

総括

- 株式会社日本旅行 代表取締役社長 小谷野 悦 光

※ 内容は変更される場合がありますのでご了承ください。
※ ご挨拶をいただく方々が多数おられますので、お名前に関しましては別添をご参照下さい。

三木谷 浩 史 特別講演



楽天グループ株式会社
代表取締役会長兼社長
最高執行役員

三木谷 浩史

1965年神戸市生まれ。1988年一橋大学卒業後、日本興業銀行（現みずほ銀行）に入行。1993年ハーバード大学にてMBA取得。日本興業銀行を退職後、1996年クリムゾングループを設立。1997年2月株式会社エム・ディー・エム（現楽天グループ株式会社）を設立し、同年5月インターネット・ショッピングモール「楽天市場」を開設。現在、楽天グループとして、Eコマース、フィンテック、モバイル、デジタルコンテンツなど多岐にわたる分野で70以上のサービスを提供する。

植 村 公 一 特別講演



インデックス株式会社
代表取締役社長

植村 公一

1959年愛知県安城市生まれ。1994年に日本初の独立系建築プロジェクトマネジメント会社として(株)インターナショナルデザインイクスチェンジ（現：(株)インデックスコンサルティング）を設立。現在、インデックスグループとして、建設、社会・公共インフラ、ファシリティの分野におけるプロジェクトマネジメント業務を国内外にて提供する。愛知県政策顧問、国立大学法人東京農工大学理事、前国土交通省政策参与などを兼務。

前夜祭

日時：2024年11月21日（木）午後5時45分から

場所：石川県加賀市山代温泉 みやびの宿加賀百万石1F広間「五彩」

- (1) 開会セレモニー
昆布カット & なまはげ・あまめはぎ共演
 - (2) 歓迎アトラクション
山中温泉芸妓による「山中節」披露
 - (3) 開会挨拶
 - (4) 歓迎挨拶
 - (5) 能登半島地震被災地からの報告とお礼（石川県輪島市長 坂口 茂）
 - (6) 来賓挨拶
 - (7) 大会記念オブジェお披露目（株式会社S G C代表取締役会長 土屋 豊）
 - (8) 鏡開き
 - (9) 乾杯
- 歓 談
- (10) 閉会

レセプション

日時：2024年11月22日（金）午後5時30分から

場所：石川県加賀市山代温泉 みやびの宿加賀百万石1F広間「五彩」

- (1) 歓迎アトラクション
（加賀市特命かがやき大使 グッチ裕三氏ステージ）
 - (2) 開会挨拶
 - (3) 来賓挨拶
 - (4) 乾杯
- 歓 談
- (5) 歓迎アトラクション
山代大田楽
 - (6) 花束贈呈
 - (7) 次回開催地挨拶（長野県松本市長 臥雲 義尚）
 - (8) 閉会

※ 内容は変更される場合がありますのでご了承ください。
 ※ ご挨拶をいただく方々が多数おられますので、お名前に関しましては別添をご参照下さい。

式次第

第35回 北前船寄港地フォーラム in 加賀・福井（福井会場）

2024年11月23日（土）午前10時～午後1時
福井県福井市 福井県産業会館

関連施設視察 福井県坂井市龍翔博物館（開始前に立ち寄り）

第1部

- I、開会セレモニー 昆布カット
- II、大会記念オブジェお披露目（株式会社S G C代表取締役会長 土屋 豊）
- III、スペシャルトークセッション
「京都へ、そして世界へ～世界の和食を支える昆布、福井の伝統工芸～」
京都料亭「菊乃井」代表取締役 村田 吉弘
奥井海生堂 代表取締役社長 奥井 隆
福井県 副知事 中村 保博（聞き手）



村田 吉弘氏

日本遺産大使（文化庁認定）
 若狭町ふるさと大使（祖父が若狭町熊川出身）
 株式会社菊の井 代表取締役
 京都・祇園の老舗料亭「菊乃井」三代目主人
 NPO 法人日本料理アカデミー名誉理事長
 一般社団法人全日本・食学会名誉理事長



奥井 隆氏

株式会社奥井海生堂代表取締役社長
 一般社団法人和食文化国民会議理事
 一般社団法人福井ガストロノミー協会会長
 公益財団法人福井県文化振興事業団理事
 敦賀商工会議所会頭



中村 保博氏

福井県副知事

第2部

- I、主催者挨拶 福井県知事 杉本 達治
 - II、来賓挨拶
 - III、鏡開き
 - IV、乾杯 福井県坂井市長 池田 慎孝
 - V、開催地紹介／プレゼンテーション
福井県敦賀市長 米澤 光治
福井県小浜市長 杉本 和範
福井県南越前町長 岩倉 光弘
福井県美浜町長 戸嶋 秀樹
- 歓 談
- VI、歓迎アトラクション
① 三国節（三国湊伝統芸能 初香会）
② 書道パフォーマンス（福井県立武生高等学校 書道部）
 - VII、次回開催地挨拶
 - VIII、閉会挨拶

※ 内容は変更される場合がありますのでご了承ください。
 ※ ご挨拶いただく方々に関しましては実行委員会関係者のみお名前を記載させていただいております。

レセプション（敦賀会場）

日時：2024年11月23日（土）午後6時00分から

場所：ニューサンピア敦賀 若狭の間

- (1) 歓迎アトラクション
- (2) 主催者挨拶
- (3) 開会挨拶
- (4) 来賓挨拶
- (5) 乾杯
- (6) 閉会挨拶

レセプション（美浜会場）

日時：2024年11月23日（土）午後6時00分から

場所：ホテル湾彩 翡翠の間

- (1) 美浜町観光 PR 動画上映
- (2) 主催者挨拶
- (3) 来賓挨拶
- (4) 鏡開き・乾杯
- (5) 歓迎アトラクション
- (6) 閉会挨拶

レセプション（小浜会場）

日時：2024年11月23日（土）午後6時00分から

場所：ホテルせくみ屋 飛翔の間

- (1) 小浜市紹介動画上映
- (2) 主催者挨拶
- (3) 来賓挨拶
- (4) 挨拶・乾杯
- (5) 歓迎アトラクション
- (6) 閉会挨拶

エクスカーション（加賀会場）

1. 北前船の里「橋立」散策

みやびの宿 加賀百万石 (9:30)→加賀温泉駅 (9:45)
 →北前船の里資料館
 加賀橋立伝統的建造物群保存地区散策
 →みやびの宿 加賀百万石 (12:00)



2. 伝統工芸九谷焼見学・体験

みやびの宿 加賀百万石 (9:30)→加賀温泉駅 (9:45)
 →石川県九谷焼美術館
 →九谷満月
 →みやびの宿 加賀百万石 (12:00)



3. 山中温泉芸妓達による山中節とお座敷体験

加賀温泉駅 (9:30)→みやびの宿 加賀百万石 (9:45)
 →山中座・山中温泉散策
 →みやびの宿 加賀百万石 (12:00)



エクスカーション（福井会場）

1. 南越前・敦賀エリア

- 【A】** 福井県産業会館 (13:00)→道の駅南えちぜん山海里
 →右近家・中村家→氣比神宮
 →奥井海生堂→ニューサンピア敦賀 (17:20)
- 【B】** 福井県産業会館 (13:00)→右近家・中村家
 →奥井海生堂→氣比神宮
 →人道の港 敦賀ムゼウム
 →ニューサンピア敦賀 (17:20)



2. 美浜エリア

福井県産業会館 (13:00)→美浜町内
 三方五湖 美浜町レイクセンター（電池推進遊覧船）、
 レインボーライン山頂公園、道の駅はまびより
 ※順不同でのご案内となります
 →ホテル湾彩 (17:20)



3. 小浜エリア

福井県産業会館 (13:00)→小浜市内
 旧古河屋別邸 (GOSHOEN)
 箸のふるさと館 WAKASA(若狭塗箸の研出し体験)
 小浜西組散策
 ※順不同でのご案内となります
 →ホテルせくみ屋 (17:20)
 ※翌朝＝道の駅若狭おばま





地域連携研究所とは

「一般社団法人地域連携研究所」は2021年1月に、地域連携を進めるために設立された一般社団法人です。2007年から17年間33回にわたり地方と地方の広域連携となる「地域間交流」をテーマに観光交流プロジェクトとしての「北前船寄港地フォーラム」を展開してきた「一般社団法人北前船交流拡大機構」の兄弟法人として設立されました。

「一般社団法人北前船交流拡大機構」は北前船ゆかりの土地の観光資源、歴史的遺産の魅力を発信しながら、地方同士の連携を深めることを目的に活動しています。この活動は、現在52自治体で構成されている日本遺産、「荒波を超えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」(2017年認定)としても実を結んでいます。

これまでの経験、実績、信用をもとに北前船に限定することなく、広く地域の連携を果たすことを目的に、地域連携研究所が設立された次第です。従来からの「『大都市と地方』の関係で地方振興を図るのではなく、東京に頼らず『地方の地域同士』」が直接つながり、ネットワークを構築し地域の活力を生み出そう」という考えはそのままに、より広域の活動を担っていくものであります。

概要

一般社団法人地域連携研究所は、広く一般市民に対し全国各地域に関する情報の発信、交流の促進、人材の育成及び地域連携の構築に関する事業等を行い、地域の活性化及び観光の促進を目的とし、その目的に資するため、次の事業を行います。

1. 全国各地域の活性化及び振興に関する事業
2. 全国各地域に関する調査、研究、情報の収集及び提供に関する事業
3. 講習会、セミナー、イベント等の企画、立案、運営および実施に関する事業
4. 文化および観光の振興並びに交流の促進に関する事業
5. 地域振興、地域連携の構築、国内外における交流促進等に関わる個人、団体等との連絡、相談、支援、指導及び連携に関する事業。
6. その他地域の活性化及び観光の促進に資するための一切の事業

沿革

2021年1月	一般社団法人として設立
2022年3月18日	自治体会員制度発足式開催(於 秋田)
2022年10月18日	企業会員制度発起人会発足式(於 パリ)
2023年2月2日	企業会員制度発足式開催(於 沖縄)
2023年10月5日	第4回 地域連携研究所大会開催(於 岡山)
2024年9月29日	第5回 地域連携研究所大会開催(於 釧路市)

役員紹介

理事長	濱田 健一郎
専務理事	浅見 茂
自治体会員会長	福原 淳嗣(前大館市長)
自治体会員共同会長	大森 雅夫(岡山市長)
企業会員代表	赤石 良治(株式会社ジェイアール東日本企画 代表取締役社長)
企業会員共同代表	清水 新一郎(日本航空株式会社 副会長)
特別顧問	田端 浩

北前船寄港地フォーラムとは

北前船寄港地フォーラムは、一般社団法人北前船交流拡大機構の評議員議長でもあられました故・石川好先生の「北前船コリドール構想(*)」に賛同した多くの自治体・企業などの支援により、2007年から日本全国で開催しているフォーラムです。

日本海側の寄港地連携、地域間交流による活性化を図る観光フォーラムとして実施され、民間レベルで開催される国内最大級のフォーラムとして認められています。また、2018年には中国・大連にて、2022年にはフランス・パリにて、海外でのフォーラムが開催されています。

2017年8月9日、同フォーラムを母体として、東日本旅客鉄道・西日本旅客鉄道・北海道旅客鉄道・日本航空・ANA総合研究所などが中心となり、一般社団法人北前船交流拡大機構が立ち上げられました。

同機構は、鉄道・航空を中心とした関連企業が地域活性化の分野で力を合わせることで、今まで以上に地域の発展に貢献するとともに、「地域間交流拡大」をより強力に推し進め、地域活性化や国内外からのインバウンド旅客の誘客拡大を目指しています。

(*)北前船コリドール構想

「北前船」は江戸時代から明治20～30年代まで北海道・東北・北陸・関西・九州を結ぶ重要な物流のネットワークとしての機能を果たしており、100年ほど前には日本海側に立派な経済圏が存在していました。コリドールとは人と物が行き交う通路・大通り・回廊を意味し、かつて日本海側が栄えた「北前船寄港地」ルートを点から面へ、回廊として発展させようとするものです。

フォーラム開催状況

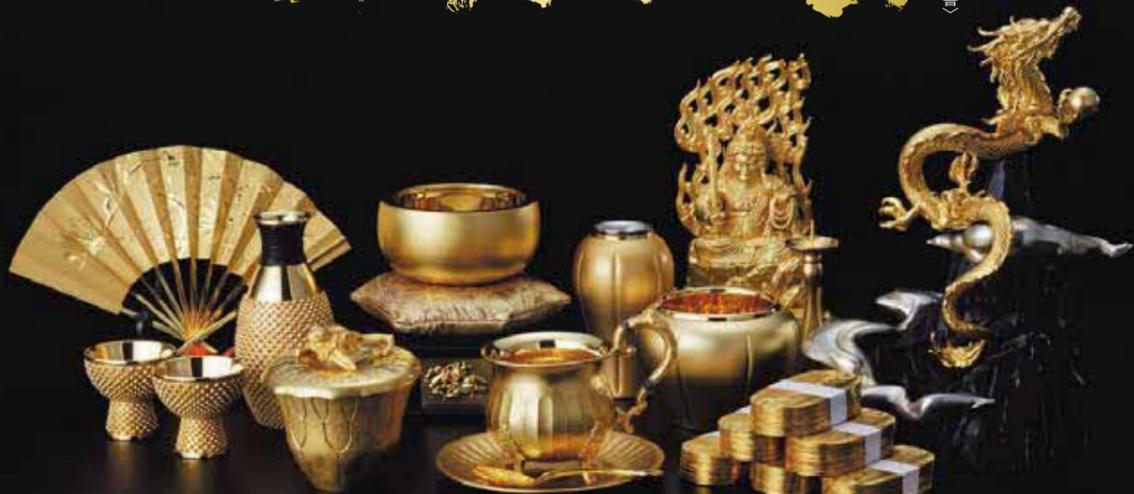
回	開催都市	開催日	テーマ
1	山形県酒田市	2007/11/15	北前船文化遺産の活かし方
2	秋田県にかほ市	2008/4/11	現代の北前船を探そう～地域の連携を強化して～
3	秋田県男鹿市	2008/9/20	甞れ 北前船が拓いた夢航路
4	北海道松前町	2009/5/22	新時代の、北前船浪漫を求めて
5	新潟県新潟市	2009/7/17	北前船スピリット再び～新潟県に今、求められるものは～
6	新潟県佐渡市	2010/3/20	今、佐渡観光に求められるもの
7	青森県青森市	2010/5/28	第1部「国際的視点で青森県の観光振興を考える」 第2部「県外・県内から青森県の観光振興を考える」
8	青森県鯉ヶ沢町 深浦町	2011/5/28	甞れ!北前船の絆を今に! ～連携による地域活性化と構成への伝承の第一歩～
9	北海道函館市	2012/5/25	受け継がれる北前船マインド(絆)～これからの観光のあり方～
10	新潟県長岡市・寺泊	2012/9/28	世界へ広がる海の道、これからの北前船 ～日本海側の広域連携と世界へ向けた可能性を探る～
11	山形県酒田市	2013/3/8	北前船遺産を日本と世界に発信!!～庄内の発展と北前船～ ～現代に生きる北前船～
12	秋田県男鹿市	2013/7/26	秋田県男鹿市の観光と産業の発展～ロシア/韓国/中国との交流促進～ ～エネルギー・環境と今後の秋田の産業について～
13	新潟県新潟市	2013/10/25	日本海軸と国土の強靱化ー拠点としての新潟ー ～日本海新時代と新潟～<新潟日報メディアシップ開業記念>
14	秋田県秋田市	2014/4/18	活かそう、大いなる遺産。いま、知と勇のネットワーク ～秋田を輝かせる人たち30人～未来につながる観光!秋田の夢・希望～
15	京都府宮津市	2014/7/25	つなぐ・結ぶ～北前船からの贈り物～ ～貴重な歴史遺産「北前船」を活かした広域連携を考えよう
16	大阪府大阪市	2015/7/17	北前船出発の地 大阪から! ～現代版北前船 新・日本海ネットワーク2015～
17	石川県加賀市	2015/11/13	北前船文化とおもてなし
18	北海道江差町	2016/11/11	日本の浪漫、北前船が北海道新幹線で甞る! ～今こそ繋ごう!観光の絆と言う地方創成新時代～
19	兵庫県淡路島	2017/5/12	人の交流による地域創生
20	岡山県岡山市・瀬戸内市 倉敷市・玉野市	2017/7/14	古(いにしえ)からの交通の大動脈鍵「瀬戸内海」と国際交流 ～そして未来へ～
21	青森県野辺地町	2017/9/1	むつ湾でつながる観光～現代の北前船で考える広域観光～
22	鳥取県鳥取市	2017/11/24	来たまえ!!環日本海新時代～北前船レガシー友情・平和・交流の海へ～
23	中国 大連市	2018/5/27	海を越えた交流の拡大へ 日本と中国の架け橋に
24	福井県坂井市	2018/7/13	日本遺産で甞る、観光と文化の北前船新時代 ～港民が紡ぐ異空間 湊・三国スタイル～
25	新潟県長岡市	2018/8/31	北前船でつながる寄港地交流～米百俵の精神を次世代へ～
26	広島県尾道市	2018/11/16	名産品でつながる北前船寄港地～地域間交流新時代の幕開け～
27	山形県庄内地区	2019/9/12	北前船が紡ぐ、新たな日中地方都市間交流
28	北海道小樽市・石狩市	2019/10/20	明治維新の力・北前船で広がる交流の輪
29	鹿児島県鹿児島市	2020/2/2	～令和の新たな輪は海を越えて 歴史・文化を活かした地域活性、地方の観光新時代
(※)	鳥根県浜田市	2020/3/14	—
(※)	中国 大連市	2020/5/24	北前船で旅した秋田蘭画～つなげる・つながる世界と未来～
30	秋田県秋田市	2022/3/19	日本の食文化を世界に
31	フランス パリ市	2022/10/18	北前船、新たな船出へ
32	沖縄県那覇市	2022/2/3	～万国津梁の地、沖縄からアジア、そして世界へ～ 北前船と吉備の穴海～海と川が織りなした文化・産業～
33	岡山県岡山市・倉敷市・ 瀬戸内市・備前市・玉野市	2023/10/5	暗れの国・岡山から世界へ 世界三大夕日に集う食・人・歴史
34	北海道 釧路市	2024/6/29	ようこそ豊かな大自然に抱かれし宝の大地へ

(※)新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止となりました。



大黄金展

〈金箔・金子書〉



想いを最高のかたちに

SGCは金の精錬から製作、販売、買取まで、すべてを手がけるゴールドカンパニーです。

SGCは、全国に13店舗ございます。その他、全国各地の有名百貨店にて、総点数1,000点以上の金製品が一堂に会する「大黄金展」を開催しております。

国内有数の金工作家の技が生み出す、仏像・仏具、置物、和洋食器など数々の逸品を、ぜひ間近でご覧ください。

GINZA SGC

11:00~20:00 TEL 0120-375-614(直通)
〒104-0061 東京都中央区銀座5-7-10
EXITMELSA(旧ニューメルサ)4階
※黄金展・ジュエリーの買取・販売専門店です。

ゴールドショップ

日本橋高島屋店
10:30~19:30 TEL 03-5542-1619(直通)
〒103-8265 東京都中央区日本橋2-4-1
日本橋高島屋6階 ジュエリーサロン

ゴールドコンシェルジュ

日本橋三越本店
10:00~19:00 TEL 03-3274-6505(直通)
〒103-8001 東京都中央区日本橋室町1-4-1
日本橋三越本店 本館6階

ゴールドショップ

新宿高島屋店
10:30~19:30 TEL 03-5361-1067(直通)
〒151-8580 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-24-2
新宿高島屋4階 ジュエリー&ウオッチサロン

ゴールドサロン

伊勢丹新宿店
10:00~20:00 TEL 03-5357-7577(直通)
〒160-0022 東京都新宿区新宿3-14-1
伊勢丹新宿店 本館4階 ジュエリー

ゴールドショップ

横浜高島屋店
10:00~20:00 TEL 045-321-8866(直通)
〒220-8601 横浜市西区南幸1-6-31
横浜高島屋5階 ジュエリー&ウオッチサロン

ゴールドショップ

東武百貨店池袋店
10:00~19:00 TEL 03-5843-3350(直通)
〒171-8512 東京都豊島区西池袋1-1-25
東武百貨店 池袋店5F 1番地

ゴールドサロン

札幌三越店
10:00~19:00 TEL 011-222-8957(直通)
〒060-0061 札幌市中央区南1条西3丁目8
札幌三越本館9階

ゴールドショップ

松坂屋名古屋店
10:00~19:00 TEL.052-264-2745(直通)
〒460-8430 名古屋市中区栄3-16-1
松坂屋名古屋店 本館7階

ゴールドショップ

大阪高島屋店
10:00~19:00 TEL 06-6631-3377(直通)
〒542-8510 大阪市中央区難波5-1-5
大阪高島屋7階

ゴールドショップ

京都高島屋店
10:00~20:00 TEL 075-252-2001(直通)
〒600-8520 京都市下京区四条通河原町
西入真町52 京都高島屋5階 宝石サロン

ゴールドショップ

大丸神戸店
10:00~19:00 TEL 078-945-8455(直通)
〒650-0037 神戸市中央区明石町40
大丸神戸店8階

ゴールドショップ

大丸福岡天神店
10:00~19:00 TEL.092-707-1959(直通)
〒810-8717 福岡市中央区天神1-4-1
大丸福岡天神店 東館エルガーラ4階

SGCはホノルルマラソンの
公式サポーターズスポンサーです。

想いをゴールドという永遠に色褪せることないかたちで残すことが
私たちの仕事です。フルマラソンと、フルマラソン部門の男女優勝者に
202.4gの純金メダルを、そして、すべての完走者に金色の完走メダルを
提供いたします。想いを最高のかたちに。



ホノルルマラソン2024は12月8日(日)開催です。



富山県 みくりが池

福井県 三方五湖

美しい、色々。

石川県 那谷寺



本日、多様美。 HOKURIKU

北陸デスティネーションキャンペーン
2024.10.1[TUE] - 12.31[TUE]

<https://www.jr-odekake.net/navi/hokurikudc/>

多様美。北陸

Japanese Beauty Hokuriku

日本の美は、北陸にあり。

※画像はイメージです。



明日の空へ、日本の翼

 **JAPAN AIRLINES**

祝 第35回北前船寄港地フォーラム・第6回地域連携研究所大会



日本旅行
NIPPON TRAVEL AGENCY

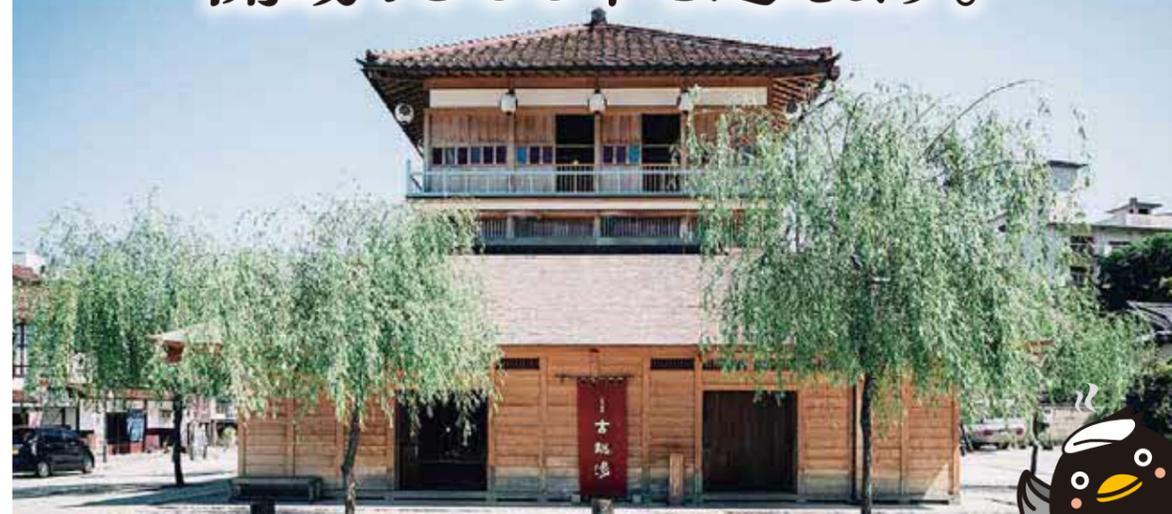
当社は来年創業120周年を迎えます。
これからも地域の発展のために貢献いたします。



世界をつなぐ、新しい空へ。

ANA Inspiration of JAPAN | A STAR ALLIANCE MEMBER  www.ana.co.jp

山代温泉は来年(2025年)
開湯1300年を迎えます。



九谷焼とあいうえおの郷
山代温泉 (一社)山代温泉観光協会 TEL 0761-77-1144
加賀温泉郷 〒922-0243 石川県加賀市山代温泉

▼PR動画 ▼観光情報





やましろ
すばろくん



情緒ある街並み
心を洗う自然
受け継がれてきた伝統



その昔、北前船の船頭衆が松前追分を湯の中で唄い、浴衣娘（ゆかたべ）たちが山中なまりで真似たのが民謡「山中節」の始まりとされています。



日本の心に、
つかろう。

山中温泉

(一社)山中温泉観光協会・旅館協同組合
石川県加賀市山中温泉栢野町ハ47-1



商工会議所は地域商工業の 経営改善・支援・発展のために活動する あなたの経営のパートナー

経営相談、創業相談のほか、貸会議室のご相談もお気軽にどうぞ

駅前の好立地！
広い駐車場を完備

最新設備を備えた
ホールや会議室！

カフェもできる
フリースペースも！

加賀商工会議所

石川県加賀市小菅波町1丁目130番地クロスガーデン加賀3階
TEL 0761-73-0001 FAX 0761-73-4599 MAIL kaga@kagaworld.or.jp

湖畔のいで湯 片山津温泉

白山が美しい湖のまち
片山津温泉
かたやまつ

片山津温泉観光協会 片山津温泉旅館協同組合
加賀市片山津温泉モ2番地2 電話(0761)74-1123

片山津温泉 かもやん

山中温泉は北前船の船主・船頭衆が疲れを癒すために立ち寄る温泉地でした。

当地の民謡「山中節」は、船頭衆が全国に伝え広めたとされ、北前船寄港の記憶は今なお「山中節」のなかで歌い継がれています。

開湯1300年の「山中温泉」と生産量日本一を誇る「山中漆器」を育んできた山中は、同じ産業を主な生業とする、能登の和倉（温泉）、輪島（漆器）とは長きにわたり連携・切磋琢磨を続けて来た歴史があります。

北前船の寄港地としてまた同じ産業を持ち、長く歴史文化を協業して来た能登半島の震災は他人事ではありません。被災された方々には心よりお見舞いを申し上げると共に、能登の復興のためにご支援出来ることを行いながら、今後の更なる発展のために共に手を取り合って立ち上がりましょう。

山中商工会



GOSHOEN

GOSHOENは、江戸時代に福井県小浜市で活躍した北前船の商人「古河屋」が、1815年に小浜藩主や賓客をもてなすために建てた「護松園」を、地元の塗箸メーカー・株式会社マツ勘がリノベーションして生まれました。福井県の有形文化財にも指定されているこの場所には、「箸蔵まつかん」の本店やコーヒースタンド、図書館、ミュージアムが併設され、自由なひとときを過ごしていただけます。

〒917-0002 福井県小浜市北塩屋17-4-1
 OPEN 10:00-17:00(Cafe L.O.16:30)
 CLOSE 水・木曜日
 TEL 0770-64-5403
<https://goshoen1815.com>



海生堂蔵囲昆布

専用蔵でじっくりと熟成させた



神楽本店 敦賀駅前otta店 金ヶ崎本社・工場 伊勢VISON店 日本橋コレド室町店

創業明治4年
 大本山永平寺御用 本山總持御用
 御昆布司
 興井海生堂

〒914-0063 福井県敦賀市神楽町1丁目4-10



www.kombu.co.jp



技術と誠実で挑戦する

桑田テント株式会社

代表取締役 桑田 博敏

〒917-0072
福井県小浜市千種 1-1-2 (大手通り)
TEL 0770-52-5055 (代)
FAX 0770-53-1770
E-mail info@kuwata-tent.co.jp
URL <http://www.kuwata-tent.co.jp>



復元北前型舟才船「みちのく丸」小浜湾にて帆走 当社復元帆製作

安全を第一に 地域とともに これからも



日本原子力発電株式会社

福井県敦賀市本町 2 丁目 9 - 16
☎ (0770) 25-5611
<https://www.japc.co.jp>

Association of Fukui Gastronomy

一般社団法人 福井ガストロノミー協会

会長 奥井 隆

fukui.gastronomie@gmail.com

